

▶ 第11回科学の甲子園に向けて

全国の科学好きが、知識・技術・チームワークで筆記競技と3つの実技競技に挑む「科学の甲子園」が、3月18日(金)からつくば市で開催されます。本校の出場は今回が9回目で、1・2年生から選抜された10名の生徒が昨年末から準備を始めています。今年の監督は飯森壮太先生(物理)で、丹保陽登先生(化学)が補助を務められます。

地学は1/13(木)・20(木)、2/4(金)・10(木)・17(木)、3/3(木)・11(金)・15(火)に第2選択教室で、情報は1/17(月)・24(月)・31(月)、2/8(火)・14(月)に情報検索室で、校外から講師をお招きして研修を行います。

▶ SS発展探究課題研究発表会・SS部研究発表会の開催について

1月28日(金)午後開催する発表会では、2年SS発展探究から23(内訳:理数科学17、人文社会科学6)、SS部から数学1、物理1、化学3、生物4の研究発表が行われます。SS発展探究の研究は、12月の三校合同課題研究発表会での指摘を受けて、ブラッシュアップした発表を行う予定です。

▶ SSH備品紹介(続き)

以前にもいくつかお知らせしましたが、今回はSSH事業で購入した化学の備品について、実習教諭の梶川先生に紹介してもらいます。

【低温インキュベーター】

令和2年5月に約24万円で購入しました。箱形の装置で、庫内を0～60℃の温度を設定することができ、指定した温度条件下での反応を観察できます。室温に影響されず長時間一定の温度に保ったり、時間と温度について複数のパターンを組み込んで管理したりすることもできます。今年度の課題研究でも活用しており、フェノールフタレイン溶液のサーモクロミズム(温度変化による可逆的な色の変化)の研究に使用しています。

【紫外可視分光光度計のUVデータマネージャーPAC】

紫外可視分光光度計で取得したデータをパソコンに保存・管理するために、オプション品として令和元年に購入しました。8万円ほどしました。SS化学部の研究や、探究科学科の課題研究で毎年活用しています。今年度の課題研究では、ロイコ色素の研究、身近な植物から抽出した色素を使った油絵の具の作成の研究、「富山で一番おいしいアイ스티ーを淹れたい!」という題のクリームダウン現象の研究で使用しました。

次号では生物の備品を紹介します。